

平成24年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



平成23年7月13日

上場会社名 ポケットカード株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8519 URL http://www.pocketcard.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 恵一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 中 一男 TEL (03)5441-1924
 四半期報告書提出予定日 平成23年7月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第1四半期の連結業績（平成23年3月1日～平成23年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第1四半期	9,192	—	844	—	798	—	935	—
23年2月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第1四半期	12.73	—
23年2月期第1四半期	—	—

(注) 平成24年2月期第1四半期から連結財務諸表を作成しているため、平成23年2月期第1四半期の数値は記載しておりません。また、対前年同四半期増減率についても記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万	百万	%	円 銭
24年2月期第1四半期	238,917	53,018	22.2	677.54
23年2月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 24年2月期第1四半期 53,018百万 23年2月期 ー百万

(注) 平成24年2月期第1四半期から連結財務諸表を作成しているため、平成23年2月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	4.25	—	4.25	8.50
24年2月期	—	—	—	—	—
24年2月期(予想)	—	4.25	—	4.25	8.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年2月期の連結業績予想（平成23年3月1日～平成24年2月29日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万	%	百万	%	百万	%	百万	%	円 銭
第2四半期 (累計)	18,400	—	1,400	—	1,400	—	1,200	—	15.89
通 期	37,300	—	1,400	—	1,400	—	1,000	—	13.02

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

平成24年2月期第1四半期から連結財務諸表を作成しているため、対前期比増減率及び対前年同四半期増減率を記載しておりません。

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規 1社（社名 ファミマクレジット株式会社）、除外 1社（社名 ） : 有
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
② ①以外の変更 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年2月期1Q	79,323,844株	23年2月期	60,270,444株
② 期末自己株式数	24年2月期1Q	1,071,164株	23年2月期	1,071,096株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年2月期1Q	73,489,364株	23年2月期1Q	59,199,939株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信〔日本基準〕(連結)は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信〔日本基準〕(連結)の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成23年3月31日にファミマクレジット株式会社を株式交換により完全子会社化したため、平成24年2月期第1四半期決算短信から連結となっております。
- 業績予想につきましては、平成23年4月12日の決算発表時の業績予想から修正しております。詳しくは本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
- 本資料に記載した予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により、本資料に記載した予想と異なる場合があります。業績予想に関する事項については、【添付資料】2ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	2
2. その他の情報.....	3
(1) 当四半期中における重要な子会社の異動の概要(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動).....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書.....	6
【第1四半期連結累計期間】.....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	7
4. 営業実績(参考).....	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による甚大な被害に加え、電力供給の制約やサプライチェーンの立て直しの遅れなど、景気の下振れリスクが現れており、先行き不透明感が高まっております。

クレジットカード業界につきましては、ショッピングは、震災直後、被災地域を中心に取扱高が一時的に落ち込んだものの、その後は回復基調を取り戻しております。一方、キャッシングは、貸金業法の改正に伴う総量規制の影響等により融資残高、取扱高が減少するなど、引き続き厳しい環境で推移しました。

このような中、当第1四半期連結累計期間における営業収益につきましては、信用購入あっせん部門は、ファミマクレジット㈱の連結子会社化に伴い、信用購入あっせん収益が37億52百万円となったほか、その他収益では、収益性の高い保険商品獲得の促進により保険代理店収入が順調に拡大するなど、堅調に推移しました。一方、融資部門は、総量規制の影響等による融資残高、取扱高の減少により、融資収益は47億74百万円となりました。これらの結果、営業収益全体では91億92百万円となりました。

営業費用につきましては、弁護士等による新規介入債権の減少に伴い貸倒関連費用が減少したほか、特典及びサービスの適正化や業務効率化に伴う各種コスト削減の推進等により、83億47百万円となりました。

これらの結果、営業利益は8億44百万円、経常利益は7億98百万円、四半期純利益は9億35百万円となりました。

なお、平成24年2月期第1四半期決算短信から連結財務諸表を作成しておりますので、前年同期との比較分析は行なっておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、2,389億17百万円となりました。主な内訳は、割賦売掛金が1,079億12百万円、営業貸付金が1,118億74百万円であります。

負債合計は、1,858億98百万円となりました。主な内訳は、有利子負債が1,620億66百万円であります。

純資産合計は、530億18百万円となりました。また、自己資本比率は、22.2%となりました。

なお、平成24年2月期第1四半期決算短信から連結財務諸表を作成しておりますので、前期末との比較分析は行なっておりません。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年2月期第2四半期連結業績予想及び平成24年2月期第2四半期個別業績予想につきましては、平成23年4月12日発表の予想数値から変更しております。詳細につきましては、本日、平成23年7月13日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の業績予想につきましては、現時点では修正ございません。

2. その他の情報

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動の概要(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当社は、金銭を交換対価とする株式交換により、平成23年3月1日をみなし取得日(株式取得日は平成23年3月31日)として、ファミマクレジット㈱を100%連結子会社といたしました。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(「資産除去債務に関する会計基準」等の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これによる損益に与える影響額は軽微であります。

3.【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間末
 平成23年5月31日

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	8,449
割賦売掛金	107,912
営業貸付金	111,874
その他	19,306
貸倒引当金	△20,589
流動資産合計	226,953
固定資産	
有形固定資産	
建物(純額)	59
器具備品(純額)	135
建設仮勘定	17
有形固定資産合計	212
無形固定資産	
のれん	3,676
ソフトウェア	3,287
その他	119
無形固定資産合計	7,082
投資その他の資産	
投資有価証券	220
その他	4,468
貸倒引当金	△20
投資その他の資産合計	4,668
固定資産合計	11,963
資産合計	238,917

(単位:百万円)

当第1四半期連結会計期間末
平成23年5月31日

負債の部	
流動負債	
買掛金	13,897
短期借入金	46,533
1年内返済予定の長期借入金	15,165
コマーシャル・ペーパー	40,000
1年内返済予定の債権流動化債務	4,950
未払法人税等	19
賞与引当金	214
ポイント引当金	327
その他	3,341
流動負債合計	124,448
固定負債	
社債	1,000
長期借入金	28,868
債権流動化債務	25,550
退職給付引当金	303
利息返還損失引当金	5,690
その他	38
固定負債合計	61,450
負債合計	185,898
純資産の部	
株主資本	
資本金	14,374
資本剰余金	15,816
利益剰余金	24,117
自己株式	△1,299
株主資本合計	53,008
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	10
評価・換算差額等合計	10
純資産合計	53,018
負債純資産合計	238,917

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日
営業収益	
信用購入あっせん収益	3,752
融資収益	4,774
その他の収益	664
営業収益合計	9,192
営業費用	
販売費及び一般管理費	
販売手数料	1,062
ポイント引当金繰入額	80
貸倒引当金繰入額	2,414
利息返還損失引当金繰入額	353
従業員給与手当賞与	590
賞与引当金繰入額	96
のれん償却額	94
その他	2,783
販売費及び一般管理費合計	7,476
金融費用	
支払利息	461
その他の金融費用	409
金融費用計	871
営業費用合計	8,347
営業利益	844
営業外収益	
雑収入	1
営業外収益合計	1
営業外費用	
株式交付費	43
雑損失	3
営業外費用合計	47
経常利益	798
特別利益	
段階取得に係る差益	490
特別利益合計	490
特別損失	
固定資産除売却損	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	42
特別損失合計	45
税金等調整前四半期純利益	1,243
法人税、住民税及び事業税	3
法人税等調整額	304
法人税等合計	308
少数株主損益調整前四半期純利益	935
四半期純利益	935

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自平成23年3月1日至平成23年5月31日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年5月31日)

当社は、平成23年3月31日付で、伊藤忠商事(株)、(株)ファミリーマート及び伊藤忠エネクス(株)から第三者割当増資の払込みを受けました。当第1四半期連結会計期間において資本金が3,105百万円、資本準備金が3,086百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において、資本金が14,374百万円、資本剰余金が15,816百万円となっております。

4. 営業実績(参考)

項目 \ 期別	前第1四半期	当第1四半期	前期
取 扱 高 (百万円)	85,843	99,963	317,851
信用購入あっせん	70,746	90,726	279,890
融資	14,310	8,364	34,865
その他	786	873	3,095
営 業 収 益 (百万円)	9,191	9,192	35,604
信用購入あっせん	2,364	3,752	9,654
融資	5,397	4,774	19,565
プロセッシング	1,112	—	4,786
その他	316	664	1,597
残 高 (百万円)	201,983	234,036	183,176
信用購入あっせん (A)	79,508	122,162	79,866
融資 (B)	122,469	111,874	103,309
融資代行	5	—	—
貸倒関連費用 (百万円) (C)	2,808	2,651	10,625
同営業債権残高比率 (%) (C / (A+B))	5.56	4.53	5.80
有 効 会 員 数 (千名)	3,651	5,017	3,211

- (注) 1 平成23年3月31日にファミマクレジット㈱を株式交換により完全子会社化したため、平成24年2月期第1四半期決算短信から連結となっておりますので、前第1四半期及び前期については個別の数値を記載しております。
- 2 残高は、債権流動化によりオフバランスとなった割賦売掛金(平成22年5月31日現在15,450百万円、平成23年5月31日現在14,250百万円及び平成23年2月28日現在15,000百万円)を含めた金額で表示しております。
- 3 残高は上記のほか、金融サービス事業に係る保証債務残高が平成22年5月31日現在45,766百万円及び平成23年2月28日現在50,383百万円あります。
- 4 貸倒関連費用営業債権残高比率は、年率換算後の数値であります。